

しんぶん赤旗 を
お読みください
日刊3,497円／月
日曜版930円／月
申込み 363-1450

民主なかがわ

第219号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/

区民の声を届ける

中川区をよくする会(代表・坂野逸朗西部民商副会長、日本共産党も参加)は、中川区役所各部門と、要求書に基づく懇談会を2月15日行ないました。

コロナ禍から命まもれ

日本共産党からは、コロナ禍での避難所対策や区でのコロナ対策について要望。昨年度作成の「避難所運営マニュアル」新型コロナウイルス

ルス感染症対策編」をハザードマップ改定に合せ、地域住民への伝え方等工夫したいと回答がありました。コロナ対策では、この間の市による保健所再編で職員・保健師が削減された中で、局からの応援で業務維持に努力している報告も。

各団体から要求

業者からは、プレミアム券等の対策では換金までの

時差があり、日々操業の事業者には間に合わない実情が示され、施策の改善を求めました。

新日本婦人の会からは、コロナ禍の生理の貧困問題が出され、学校保健室での無償配布に加え、トイレ個室配置への試行実施の現状を回答。また、通学路プロック塀問題では、市による実態把握の確認の上、所有者への指導、助成制度周知の努力を更に要望しました。

年金者組合からは、国保制度の改善、介護・高齢者医療制度の改善が。当局からは、減免申請の郵送受付「特別減免」申請書の同封措置の継続確認は報告されましたが、他の課題では市独自の施策等は示されませんでした。

名南会中川友の会からは、難聴者への補聴器補助拡大・乳がん検診の毎年化や聴力検査組入れの要望が。当局からは、実情への一定の理解は示されたものの、制度の充実の回答はありませんでした。



中川区をよくする会を代表してあいさつする坂野代表、右江上市議

今後懇談し、区民要望・地域の改善に努力し合うことを確認し終了しました。



ロシアのように中国が攻めてきたら 市議 江上博之

ロシアが24日、ウクライナへの侵略を開始。あれだけ国際世論が批判しているのに強行したプーチン大統領は許せません。国際社会で平和構築のためにウクライナ侵略を許さない、の一点での外交努力を▼中国は、この声に応えていません。昨年の総選挙で、「中国が攻めてきたら 市議 江上博之」の声が

▼尖閣諸島への領海侵犯、東シナ海などで覇権主義、ウイグルや香港での人権抑圧。確かに心配。日本共産党は、「覇権主義を止めよ」「弾圧を中止せよ」「国際法を守れ」と面と向かってキツパリと批判しています▼「それでだめならどうす

るの」東南アジア諸国連合は、「紛争の平和的な解決」を義務付けた友好協力条約を結び、東南アジアを「分断と敵対」から「平和と協力」の地域に変えてきました。諸国連合は、アメリカ、中国、日本などを含む「東アジアサミット」を毎年開き、東アジア規模での友好協力条約をめざしています。

憲法9条を持つ日本がこの条約実現に尽くします。万が一、「急迫不正」の侵略を受けたら、自衛隊を含めて、あらゆる手段を用いて命を守ります▼この機会に党の政策をしっかりと話していきます。

荒子観音前で憲法署名

節分の2月3日、荒子観音前で「憲法改悪を許さない全国署名」を9条改憲NO！中川総がかり行動のみなさんが取り組みました。

「岸田さんはハト派と思っていたが敵基地攻撃能力なんて言ったらだめだね」、「「苦労さん」、「年金が下がるのも困る」と声がありました。中川革新懇、年金者組合、新日本婦人の会のみなさんや江上博之市議が参加しました。

荒子観音の本堂では、豆まきが行われ、出店も出て、コロナ禍で距離を取りながら人が集まっていました。



弁護士相談 3月17日 (木) 午後6時半電話連絡 363-1450 江上事務所

戦争法許さない19アクション

2月19日、安保法制が強行された2019年9月19日を踏まえて、地下鉄高畑駅周辺で「19アクション」に9条改憲NO!中川総がかり行動のみなさんが取り組まれました。新型コロナウイルス感染拡大の中、集会やパレードに代わりリレートークと憲法改悪を許さない署名に取り組みました。

リレートークで主張

「岸田政権のコロナ対策

ロシアのウクライナ侵略に抗議

ロシアがウクライナに侵略への抗議の宣伝を2月26日、江上博之市議と地域のみなさんが野田フィール前で行いました。

日本共産党は侵略に抗議

ロシアは、24日に侵略を開始し、ウクライナ東部の地域のみならず、首都キエフやクリミア半島からも侵略を進めています。日本共産党は、この侵略に抗議し、ロシア軍のすみやかな撤退を求めています。江上市議は、国連憲章、国際法を踏まえ、平和を破壊する侵略は許さないという一点での国際社会の団結を呼びかけている日本共産党の活動を紹介し、平和外交を掲げる日本共産党を7月の参院



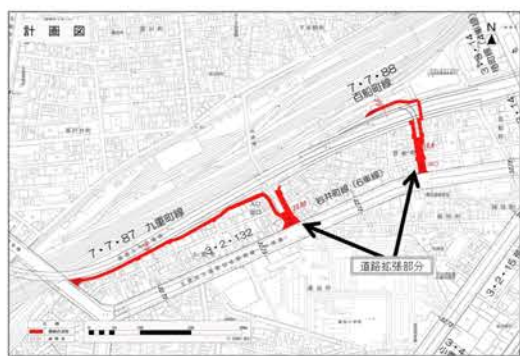
PCR検査も最低クラスで、「ケア」も支援金給付金も充分ではない」、「岸田政権の外交は敵基地攻撃能力に踏み込みなど、戦争する国づくりをやめさせ憲法9条を生かした平和外交を」、「年金を引き下げ、今秋から後期高齢者の医療費窓口負担を2倍に引き上げる。老人いじめは許さない」、「唯一の戦争被爆国日本は国連で採択した核兵器禁止条約に署名・批准を」と次々のトークに、バスを待つ人も耳を傾けていました。

中国をどう見るか

中国が攻撃をするのではなか、という疑問にも答えました。中国の尖閣諸島領海侵犯、東シナ海、南シナ海での覇権主義、ウイグルや香港の人権侵害など中国に対して、キッパリ批判し、東アジアでの話し合いで解決をはかる友好条約の実現を掲げました。侵略への抗議のチラシも配布し、声をかけて受け取っていく人がいました。

市議会で黄金インター質疑

名古屋市議会2月議会は、2月18日から3月23日の日程で始まりました。2月25日、江上博之議員が、今年度最終補正予算で、「名古屋高速黄金インター拡張による住民追い出し」について質疑しました。



移転交渉が伸び線越

名古屋市は、高速道路公社への建設資金貸付金10億円余を次年度に繰り越す提案。理由は、「建物所有者や地権者との交渉に時間を要している」というものです。黄金インター拡張だけでも地権者は40軒近くあります。

終の住まいの予定が

対象の九重町、百船町は、北は都市高速が東西に走り、南は黄金陸橋から上前津に名古屋市道岩井町線が東西に走っています。あおなみ線さしまライブ駅へは歩いて10分程度。スーパーも、医者も近くにあり、高齢者を含め住みやすい地域です。そこへ、40年前高速道路建設があり、150軒以上が移転となり、そのうちの5軒が、今回も移転対象です。そのうちの1軒は、小売店で後継者がなくなれば、高齢夫婦の住宅を移転しろ、と言われ嘆いています。1人暮らし高齢女性は、終の住まいのためにリフォームしたところへ移転しろ、長屋住まいの一人暮らし高齢者もいます。江上市議は、「これだけの犠牲を払ってまでして強行する事業でしよるか」と、指摘しました。



事業の中止を求める

江上市議は、1点めに、移転交渉が長引いている理由、内容を質問しました。回答は、今まで行ってきた対応を述べた後、「丁寧な対応に努めているところですが」というのみでした。

江上市議は、2点めに、県議会、市議会でも都市高速道路建設にあたり確認された3条件8項目のうち、「住民の理解と納得を得る」ことの確認を求めました。回答は、事業説明会や個別の会合を行ってきたと述べ、「今後も引き続き、公社とともに、丁寧に説明を重ねながら本事業を進めてまいりたい」というだけ。

江上市議は、「住民の理解と納得が得られていないから移転交渉が長引いている。地域の人たちが不安にする事業は中止すべき」と質問を終わりました。

3月早朝宣伝

- 1日 火 下之一色
 - 4日 金 近鉄戸田
 - 7日 月 あおなみ線小本
 - 8日 火 J R 春田
 - 15日 金 名鉄山王
 - 18日 金 万場小橋
 - 22日 火 近鉄伏屋
 - 25日 金 あおなみ線中島
 - 29日 火 J R 尾頭橋
 - 31日 木 あおなみ線荒子
- 朝7時半から8時

無料相談 (子育て・教育問題も) 毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450